

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
3	<p style="text-align: center;">4 番 佐藤 光保 (一問一答)</p>	<p>1. 特別障害者手当について</p>	<p>コロナ禍における町民の苦難軽減の一助とするべく本手当について質問する。</p> <p>(1) 制度の概要 (2) 本町における介護認定者への特別障害者手当の受給状況 (3) 所得税・住民税の負担軽減措置 (4) 周知状況</p>
4	<p style="text-align: center;">8 番 赤塚 英一 (一問一答)</p>	<p>1. コロナ禍における更なる経済支援の検討は</p>	<p>昨年より新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るい、日本国内でも感染が広がっている。</p> <p>現在、第2波、第3波の感染拡大が広がり、新年になり緊急事態宣言が再度発令されたことで、全国的に厳しい状況を迎えている。</p> <p>当町でもコロナ禍における対策として、これまで財政支援を行なってきたが、これ以上長引けば生活に大きな影響を及ぼし、経済の悪化から生活が厳しくなる世帯の多く出てくる可能性がある。</p> <p>そこで、更なる経済支援策を講じる考えはないのか町の考えは。</p>
5	<p style="text-align: center;">11 番 斎藤 弥志夫 (一問一答)</p>	<p>1. デジタル化の推進</p>	<p>デジタル化について「単に情報システムを整備する、手続きをオンライン化する、手続きに係る費用を削減する、オンライン利用率を上げることを意味するものではない」とし、行政サービス改革・業務改革の徹底を基本方針としている。</p> <p>このことはデジタル技術やデータを活用して利用者目線に立って、新たな価値を創出するDX（デジタルトランスフォーメーション）である。今年9月に設置が予定されているデジタル庁は国の行政機関としてデジタル化を進めていくであろうが、企業でもデジタル化は重要な課題である。行政も可能な限り、デジタル化を推進する時代になっていると考えるが、役場にもデジタル化を専門にする職員の配置が必要であろうし、遊佐町のデジタル化とDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みについて伺う。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
5	11番 斎藤 弥志夫 (一問一答)	2. G I G A スク ール構想	G I G AとはGlobal and Innovation Gateway for All の略で、世界的で革新的な学びの入り口をすべての子どもたちにとという意味である。国では2020年度から始めていこうという予定であったが、当初は4年間で整備する予定であったが、なんと1年間に短縮することになった。家庭内での活用も視野に入れることが加わった。だれひとり取り残さない教育を実践するには、対面的な学校の授業とICT活用のオンライン学習のハイブリッドが必要である。タブレット利用を中心とした遊佐町のG I G Aスクール構想の現状と今後の展望を伺う。タブレットは文房具という指摘もあるが、一日も早く児童生徒の全員にタブレットが行き渡ることを期待します。
6	9番 阿部 満吉 (一問一答)	1. 鳥海山の森を守るには	1. 山林所有者へのアンケートから見えてきた事は。 2. 湧水涵養としての森林を守るには 3. 森林を守りぬく町の施策はどうあるべきか
		2. まち協への施策は	3年後には小学校が統合し、地域の核は学校から地域自治に移行する。町はどう導くのか。
7	3番 佐藤 俊太郎 (一問一答)	1. 除雪事業の現状と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・間口除雪は町としてどのように対応するか。 ・自主除雪作業支援事業は今シーズン何団体から申請があったか。又過去5年間の申請数、稼働日数、助成金は。 ・排雪作業の実施基準を有しているか。又排雪場所を増す予定は。 ・まちづくりセンターに配置された小型除雪機の貸出し状況は。 ・ボランティア除雪の実施状況と今後の課題を伺う。
		2. 外国人技能実習生の現状は	<ul style="list-style-type: none"> ・町内で実習中の人数と出身国は。 ・遊佐町民として最長5年間居住することとなるが、処遇に関する施策を伺う。

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
8	<p style="text-align: center;">6 番 松永 裕美 (一問一答)</p>	<p>1. 投票率の現状と課題</p>	<p>① 遊佐町議選挙平成3年・7年・19年・27年・31年の投票率の実績は。</p> <p>② 町民の皆様に対して「投票行動一票の大切さ・重さ」を自然と考えられるきっかけとなるような啓蒙の方策や、投票会場に足が向くような取り組みの現状は。</p> <p>③ 18歳選挙権を実現する改正公職選挙法は2016年6月19日に施行され5年目となるが、中・高校生に向けての遊佐町の主権者教育の現状は。</p> <p>④ 投票率向上のため、新ロゴマークのデザイン提案をさせて頂く。 遊佐町の米・野菜・海産物他特産品全てのイメージアップとPR戦略（SNS発信も含む）につながるのではないかと。 農業委員会ははじめ町の様々な機関や人々のご理解やご協力を得た上で「田んぼアート」的な発想で町の水田地帯一部に時間を十分にかけて、ロゴマークを稲穂で描くプロジェクト始動の現実性は。また従来の子供達の稲作体験（令和5年小学校統合記念）企画との連携も町に活気を取り戻す施策となるのでは。</p>
9	<p style="text-align: center;">1 番 本間 知広 (一問一答)</p>	<p>1. 「遊佐町定住促進計画」のこれまでの取り組みは</p>	<p>町の人口減少に少しでも歯止めをかけるために平成24年度に「遊佐町定住促進計画」が策定された。</p> <p>当初は何をどうすればいいのかわからないという手さぐりの印象が強かったが、着実に実績を上げ、現在は県内でもトップランナーと呼ばれるようになった。田舎暮らしランキングでも上位に位置するなど町の情報発信にも寄与している。</p> <p>移住・定住は町の基本計画の1つとしてこれまで数々の事業が行われてきたが、これまでどのようなことに取り組んできたのか伺う。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
10	5番 齋藤 武 (一問一答)	1. これからの自然環境保全施策をどのように実施していくのか	<p>「湧水の郷」とうたわれている遊佐町だが、湧水をはじめとする恵まれた自然環境は「保護」だけでなく、積極的に「保全」していく必要がある。</p> <p>臂曲地区の採石を巡る裁判は大きな局面を迎えつつあるが、現在の裁判で全ての課題に結論が出るものではない。また、洋上風力発電事業計画が進行しているが、町民から示された不安の解決はほとんど図られていない。</p> <p>コロナ禍で学習会の開催や専門家の招聘が難しいのは確かだが、コロナ後を見据える必要もある。</p> <p>課題山積の中、令和3年度の施政方針を踏まえ、時田町政は自然環境保全施策をどのように実施していくのか。</p>
11	10番 高橋 冠治 (一問一答)	1. ふるさと納税の町の受け入れ体制は。また特産品開発等に携わってきたブランド推進協議会の活動について	<p>ふるさと納税が本年度順調に伸びているが、返礼品の確保はじめ、それに対応する職員への業務負担は大きくないのか。業務の一部を外部委託しているが、全体としての見直しを考えていないのか。</p> <p>また、ふるさと納税の返礼品としての特産品等の開発に携わってきたブランド推進協議会の活動を現状の形で進めて行くのか伺う。</p>
		2. 町から交付される指定管理料や委託料また各種団体・組織に交付される補助金の扱いに問題点はないか	<p>町政の運営も行政の効率化や専門性を求め、指定管理や外部委託などを行ってきた。</p> <p>また、各団体・組織に運営の一部として補助金を交付しているが、時代の変化や突発的な事情により変化している。予算の執行にあたっては、状況を踏まえ、適切に執行していると思うが、問題点はないのか伺う。</p>